
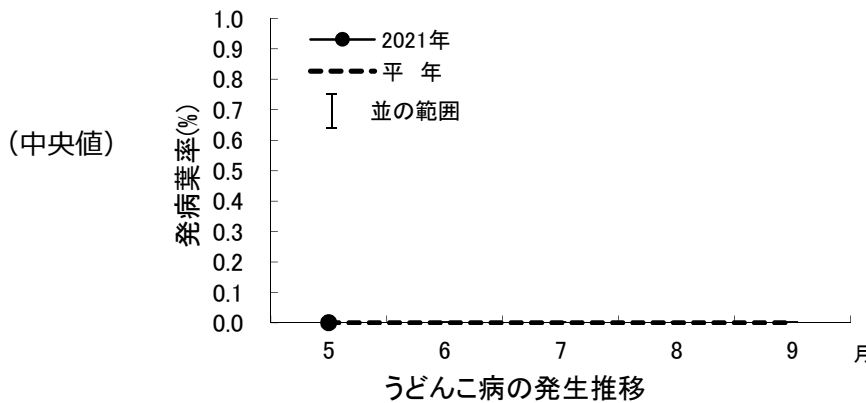
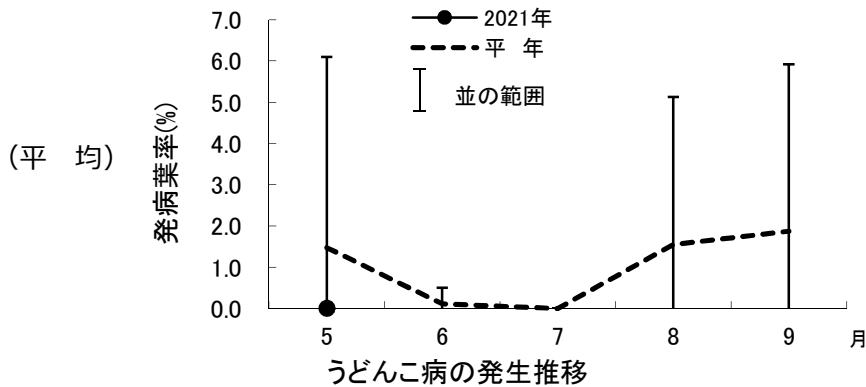


作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	うどんこ病		
調査結果	5 月の発生量 (平年比)	(発生なし)並	
予 報	5 月からの増減傾向	↘	
	6 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↘)	

調査結果



・発生ほ場率0.0% (平年4.5%)

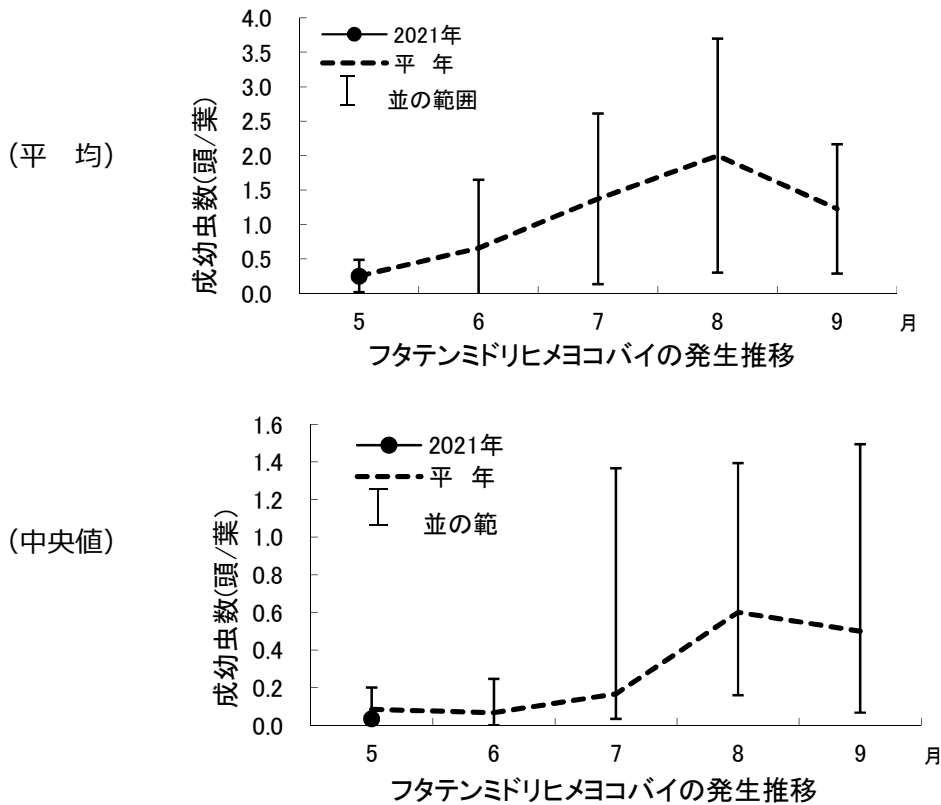
防除のポイント

- ・下位の罹病株や残葉は速やかに除去し、風通しを良くする。
- ・窒素過多にならないようにする。
- ・草勢を維持し、適切な施肥管理を行う。

作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	フタテンミドリヒメヨコバイ		
調査結果	5 月の発生量 (平年比)	並	
予報	5 月からの増減傾向	↗	
	6 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)	



調査結果



・発生ほ場率60.0% (平年63.6%)

防除のポイント


・多発すると被害葉は黄変萎縮するので、葉裏を観察し、早期発見・防除に努める。



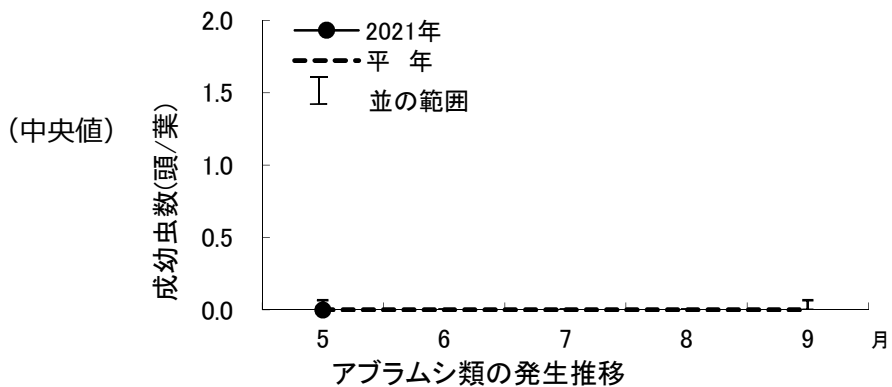
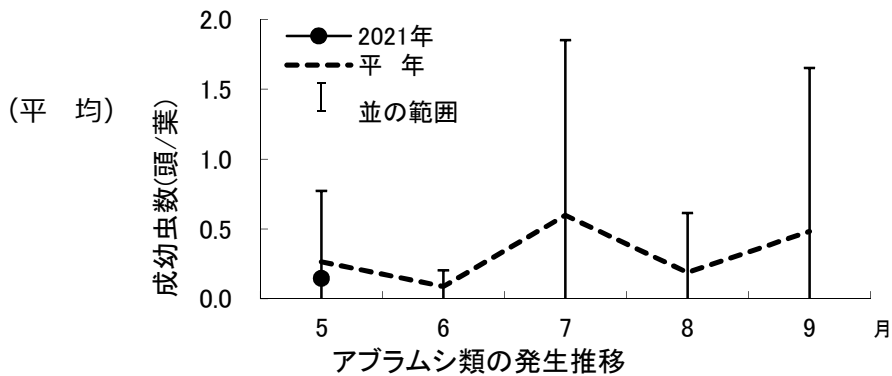
幼虫



被害葉

作物	オクラ		地域	沖縄群島
病害虫名	アブラムシ類			
調査結果	5 月の発生量 (平年比)	並		
予報	5 月からの増減傾向	↘		
	6 月の発生量 (平年比)	並		
予報の根拠			平年の発生量の推移 (↘)	


調査結果



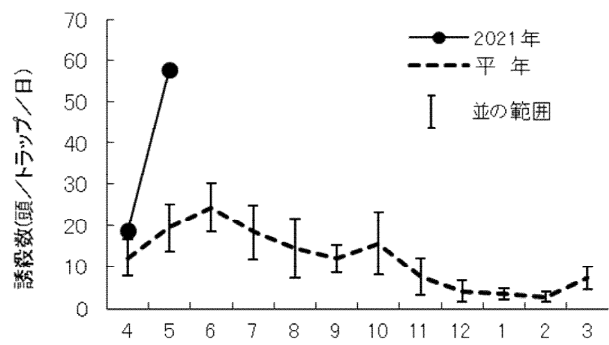
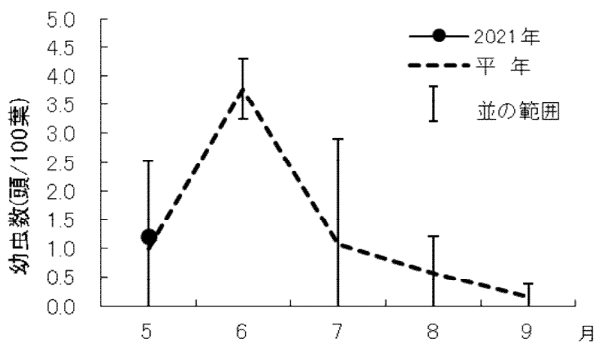
・発生ほ場率40.0% (平年38.6%)

防除のポイント

- ・多発すると新葉の萎縮や芯止まりにより生長が阻害されるため、葉裏をよく観察し、早期発見防除に努める。
- ・発生源となるほ場内外の雑草を除去する。

作物	オクラ		地域	沖縄群島
病害虫名	① チョウ目幼虫(オオタバコガを除く)			
調査結果	5 月の発生量 (平年比)	並		
予報	5 月からの増減傾向	↗		
	6 月の発生量 (平年比)	並		
予報の根拠			平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果



チョウ目幼虫(オオタバコガを除く)の発生推移

ハスモンヨトウ(トラップ 日)の発生推移


(平均)

- ・発生ほ場率80.0% (平年36.4%)
- ・発生種 : ハスモンヨトウ

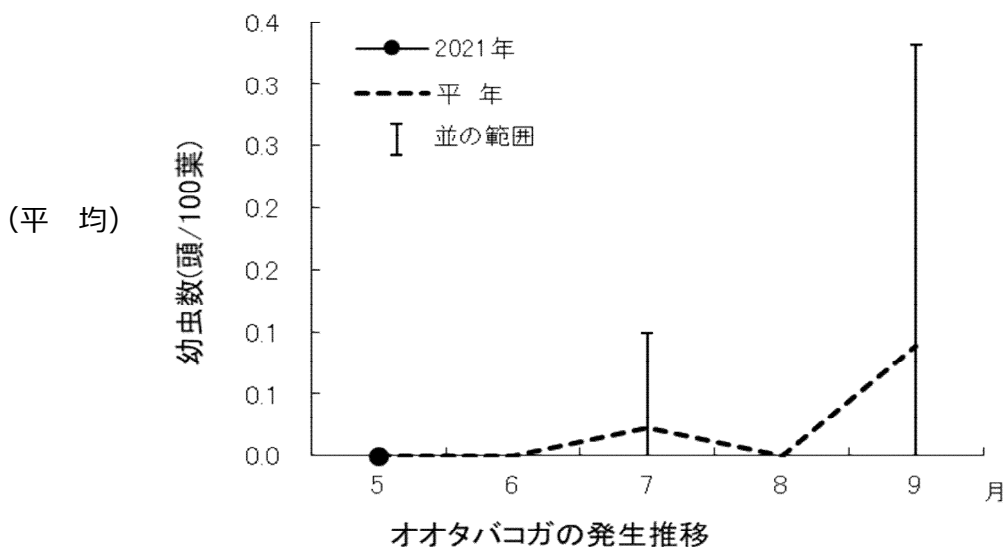
防除のポイント

- ・発生密度が低い場合は、捕殺が有効である。
- ・葉裏の幼虫に対しては薬剤効果が低減するので、若齢幼虫期のかすり状被害を発見したら、速やかに薬剤を散布する。



作物	オクラ		地域	沖縄群島
病害虫名	オオタバコガ			
調査結果	5 月の発生量 (平年比)	(発生なし)並		
予報	5 月からの増減傾向	→		
	6 月の発生量 (平年比)	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)		

調査結果



- ・発生ほ場率0.0% (平年0.0%)

防除のポイント

- ・発生密度が低い場合は、捕殺が有効である。
- ・葉裏の幼虫に対しては薬剤効果が低減するので、若齢幼虫期のかすり状被害を発見したら、速やかに薬剤を散布する。
- ・被害果や摘芯、摘花した腋芽・花蕾等の残さは、ほ場外へ持ち出し適切に処分する。

